朝鮮社会科学者協会

通　報



1

2025

目 次

特集

思想理論解説

朝鮮を知ろう

今日の朝鮮

朝鮮の歴史と文化

世界が見た朝鮮

討論会のニュース

特集

朝鮮労働党中央委員会第8期第11回総会が行われる

2024年の誇らしい成果を総括し、朝鮮労働党と共和国の成長・発展史においてもう一つの分水嶺となる2025年の党および国家活動の発展方向と方略を策定する朝鮮労働党中央委員会第8期第11回総会が、2024年12月23日から27日にかけて行われた。

総会では、2024年度の党および国家政策実行状況総括と2025年度の闘争方向について、わが党の新しい地方発展政策と今後の課題について、国の教育土台の強化のための一連の措置を実施することについてなど、重要な議題が討議された。

金正恩総書記は、2024年度の党および国家政策実行を目指す闘争で成し遂げた成果と2025年度の闘争方向についての第1の議題に対する討議で、綱領的な結語を述べながら、5カ年計画を成功裏に完結するとともに、次の段階の発展道程に入るための準備工程を実質的に推し進めることを2025年度事業の総体的方向として打ち出し、その実現のための政策的課題を明示した。

金正恩総書記は結語を終えながら、こぞって時代と革命、祖国と人民に対して両肩に担ったより重い任務と責任感を銘記し、総攻撃戦の先頭に立って2025年の偉大な勝利と栄光のために確信に満ちて、より果敢に闘っていこうと熱烈に呼び掛けた。

総会は、第2の議題討議に次いで第3の議題として「わが党の新しい地方発展政策と今後の課題について」を討議した。

金正恩総書記は、わが党が重要な政治的問題、最大の宿願事業と見なし、最優先の革命課題として強力に推し進めている「地方発展20×10政策」を実行する

闘争において達成された成果を強調しながら、地方工業工場と共に追加的に先進的な保健医療施設と科学・教育および生活文化施設、穀物管理施設まで並行して建設することを党の新しい地方発展政策に正式に含めることを総会に提議した。

総会は、第4の議題「国の教育土台の強化のための一連の措置を実施することについて」を討議した。

金正恩総書記は、第4の議題に関する結語を述べながら、わが党は創造と変革の振幅が大きくなるほど、課された革命課題が壮大であるほど教育を常に第一にして優先権を付与するであろうし、教育事業に対する全社会的な関心をさらに高揚させ、国家の支援と投資を引き続き増やしていくであろうと確言し、国の教育土台の強化において提起される当面の中長期的な課題を明示した。

総会は、金正恩総書記が議題の討議過程で行った教示と綱領的な結語の思想と精神に立脚し、2025年度闘争課題の徹底かつ正確な実行計画を樹立するための分科別研究および協議会を2日間にわたって行った。

朝鮮労働党中央委員会第8期第24回政治局会議が、12月27日に招集された。

党中央委員会政治局は、分科別研究および協議会でまとめられた意見を検討し、決定書草案を修正・補足して総会に提出することを決定した。

総会は、決定書「第8回党大会が示した5カ年計画の2025年度課題を貫徹することについて」と「新たな地方発展戦略実行を強力に推し進めて国家の全面的興隆を早めることについて」「国の教育土台を強化するための一連の措置を取ることについて」を全会一致で採択した。

金正恩総書記が総会を締めくくった。

金正恩総書記は、来年はわが党が創立80周年を迎える意義深い年であると同時に、第8期党中央委員会が自分の活動を時代と人民の前で総括する年であるとし、開拓と躍進の4年間を超越する非常な英知と勇猛、責任ある努力と力強い奮闘をもって、任期の最後の年である2025年をわが党の指導史に最も光り輝く地位を占める歴史の分水嶺につくらなければならないと述べた。

金正恩総書記は、偉大なわが国家の全面的興隆・発展のための聖なる愛国闘争に全党、全国、全人民が総奮起して奇跡的成果を収めることで、第９回党大会を勝利者の大会、栄光の大会として堂々と迎えようと熱烈に呼び掛けた。

朝鮮労働党中央委員会第8期第11回総会は、最も正義の理想と遠大な抱負を抱いて勇んで進む朝鮮の社会主義偉業の将来性と潜在力に対する楽観を百倍にし、自存、自力の不抜の力をもって共和国の全面的隆盛期を果敢に早めるための歴史的な進軍に大きな迫力を与えた意義深い契機となった。

新浦市浅海養殖事業所の竣工式が盛大に行われる

新浦市浅海養殖事業所の竣工式が朝鮮民主主義人民共和国の咸鏡南道で2024年12月28日に盛大に行われた。

金正恩総書記が竣工式に出席して意義深い演説を行いながら、新浦市浅海養殖事業所の竣工でわれわれが得た何よりも貴重な利点は、われわれの水産業の構造を刷新することになる浅海養殖に新浦の人々が切実な利害関係を持ち、その妙策を科学的に体得したことだとし、自力更生、自活・自決を口先で唱えるだけでなく、その秘訣がまさに自分自身にあることをはっきり認識し実践することが重要だと強調した。

金正恩総書記は、やり遂げた事業に劣らず膨大な仕事、より壮大な闘争課題がわれわれの前にあるとし、新浦市浅海養殖事業所の幹部と技術者、従業員が初年の養殖の良い経験を積極的に生かして浅海養殖を活性化し、それを基本として水産業の構造を改善する上で引き続き先駆的役割を果たし、企業の管理を几帳面に行って地方経済の発展をしっかり保証しなければならないと述べた。

金正恩総書記は、われわれの理想と勇気、われわれの奮闘と創造は必ずしも、絶え間なくより誇らしい財産をわれわれ自身にもたらすであろうとし、地方が変

わり興る時代に新浦市が栄え、文字通り「富者の都市」となって地元の人々に喜びと幸福を抱かせることを心から祈願した。

金正恩総書記が竣工のテープカットを行い、ホタテガイ加工場、超急速冷凍室、総合指揮室、製品見本室など事業所の各所を見て歩きながら、管理・運営および養殖物加工状況を詳しく確認した。

金正恩総書記は、新浦市浅海養殖事業所の建設で得た貴重な経験に基づいて成果を引き続き拡大していくのは、わが党が史上初めての努力を傾ける地方振興の歴史的偉業を強力に実行していく上で重要な意義を持つとし、海を控えている所では海を、山を控えている所では山をよく利用し、観光資源のある所では観光業を活性化する方法で全ての市・郡が地方経済を確たる発展土台の上に押しあげる上での貴重な教示を与えた。

楽園郡浅海養殖事業所の建設着工式が盛大に行われる

楽園郡浅海養殖事業所の建設着工式が朝鮮民主主義人民共和国の咸鏡南道で2025年2月14日に行われた。

敬愛する金正恩総書記が着工式に出席した。

金正恩総書記は、地方の自然的・経済的資源を効果的に開発・利用するというわが党の政策に従って、今日、新浦市に次いで二度目になる近代的な浅海養殖拠点の建設に着手するようになる、第8期第11回総会で楽園郡浅海養殖事業所の建設を決定した後、党中央委員会は年頭から適地の確定から建築設計をはじめ多くの問題を研究・協議・検討し、対策を取るようにした、この場所も自身が直接選定したと述べた。続けて、三面が陸地に囲まれているここは、不利な海洋気象学的影響を受けない上に、埠頭と防波堤の建設にも有利であり、また養殖場からの距離も非常に近く、水生動植物資源と海洋生態学的環境も優れているので、養

殖事業所の位置としてはまことに打って付けの場所であるとし、ここに近代的な浅海養殖事業所を建設するとともに、海岸地帯の特性がよく生かされるように住宅まで立派に建てて、世界で最も美しい漁村を楽園郡に贈りたいと思う、今後、この漁村を「楽園浦」と呼ぶのがよかろうと語った。

総書記は、わが党の地方発展政策を実行するための一年間の闘争の誇らしい結実として、昨年の末から一カ月余の間に全国の10分の1に及ぶ地域で地方工業工場の竣工式が相次いで盛況裏に行われたのは、われわれの闘争領域が非常に拡大し、われわれの偉業を前進させる強力な原動力がもたらされたことを実証していると述べた。

総書記は、わが国で浅海養殖はすでに実利性と将来性が実証された資源開発領域であり、海岸地帯に位置した市・郡の確実な発展の保証であるとし、海を控えた市・郡が自然地理的条件と海洋生態学的環境に対する科学的な研究・分析に基づいて海の資源を効果的に活用するための方向と方途を明示した。

金正恩総書記が、着工を記念して建設のくわ入れをした。

楽園郡で盛大に行われた近代的な浅海養殖事業所と漁村の建設着工式は、全国の全ての市・郡を自立的かつ多角的に発展した文化的で裕福な住みよい所に変貌させようとするわが党の確固たる意志と崇高な理想、雄大な抱負を抱き、富強な未来に向かって力強く前進・飛躍する朝鮮の精神、朝鮮の気概を再び誇示する意義深い契機である。

和盛地区第４段階1万世帯住宅建設の着工式が盛大に行われる

朝鮮民主主義人民共和国の首都平壌で和盛地区第４段階1万世帯住宅建設の着工式が2025年2月16日に盛大に行われた。

敬愛する金正恩総書記が着工式に出席して意義深い演説を行った。

金正恩総書記は、この4年間、間違いなく挙行してきたように、今日また、今年度の1万世帯住宅建設工事に着工する儀式を行うことになった意義を説明し、誇らしい建設事業で赫々たる勲功を立ててきた誇りと自負を抱き、より雄大な目標の実現を目指して力強い歩みを踏み出している全ての建設者に温かい感謝と戦闘的あいさつを送った。

金正恩総書記は、革命からより壮大な革命へ、一段階の発展からより高い境地の変革へと進むわれわれの闘争道程で建設の果たす大きな役割について言及し、首都市民が何の不自由もなく文明かつ幸せな生活を享受できる全ての条件を完璧に整える時まで平壌市建設事業を引き続き推進させる意志を闡明しながら、当面の首都拡張建設の構想を披瀝した。

金正恩総書記は、和盛地区第4段階建設が必ず立派な結実をもたらし、和盛地区が人民の幸福かつ文明な生活の基盤としてだけでなく、不屈の社会主義朝鮮の新たな奇跡が宿った歴史の地としてその名が一層輝くようになるものとの確信を表明するとともに、われわれの首都の偉大な雄姿と限りない繁栄のために、わが国家の文明と人民の幸せな生活のために偉大な闘争に一層勇敢に立ち上がろうと熱烈に呼び掛けた。

金正恩総書記が、自ら和盛地区第4段階1万世帯住宅建設の着工を告げる発破ボタンを押した。

天地を揺るがす壮快な爆音とともに、新たな進軍の開始を告げる花火が次々と打ち上げられた。

文明・富強の最高の理想を目指した全面的発展の新しい時代に、首都平壌を人民大衆第一主義が徹底的に具現された世界的な都市に変貌させるために、朝鮮労働党第8回大会が決定した平壌市5万世帯住宅建設がついに完結段階に入ったことを全世界に知らせる壮快な爆音であった。

和盛地区第3段階1万世帯住宅の竣工式が盛大に行われる

朝鮮民主主義人民共和国の首都平壌で和盛地区第3段階1万世帯住宅の竣工式が2025年4月15日に盛大に行われた。

敬愛する金正恩総書記が竣工式に出席して竣工のテープカットを行い、新しい住宅に入居する勤労者や老人たちに会った。

金正恩総書記は、このように近代的な住宅を今になって提供して申しわけない、今日、感激と歓喜に満ちている首都市民の姿を目の当たりにすると、人民のためにより多くの仕事を受け持つ決心が一層固くなるとし、みんなが新しい住宅で無病息災で幸せに暮すことを願うと言った。

金正恩総書記は、わが党の首都建設政策を体して平壌市5万世帯住宅の建設に貢献している軍隊と社会の労働革新者に会って鼓舞、激励した。

朝鮮民主主義人民共和国の首都平壌で行われた和盛地区第3段階1万世帯住宅の竣工は、社会主義朝鮮を隆盛・繁栄の最高峰へと導く偉大な党中央の卓越した指導力と、党の周りに一心同体となって固く結集した朝鮮人民の愛国の力がもたらした富強な朝鮮特有の真面目の一大誇示であり、強い闘志と自信をもって朝鮮労働党創立80周年と第9回党大会を目指す全人民的な進軍気勢を一層昇華させる鼓舞的な大慶事であった。

朝鮮労働党が提示した「地方発展20×10政策」実行の初年の課題が立派に完結される

偉大な朝鮮労働党の指導の下に人民が理想する全面的国家興隆の新たな転機を確信をもって開いていく社会主義朝鮮の力強い前進気概と洋々たる前途を誇示しながら地方中興の初の実体が全国各地に素晴らしく建設された。

人民大衆第一主義を最高綱領、不変の原則と打ち出して闘争する偉大な党中央は、朝鮮労働党の歴史、共和国の発展行路においてはじめて全国の同時的・均衡的・飛躍的発展という雄大な地方発展政策を闡明し、未曽有の革命を輝かしい成功と勝利へと導いている。

党の路線と政策は絶対の真理で科学であり、勝利であるという信念を体質化した全朝鮮人民と人民軍将兵たちは、党の「地方発展20×10政策」を貫徹するための最初の進軍の歩幅を果敢に伸ばし、堅忍不抜の英雄的闘争によって20の市、郡の地域的特性に相応しい近代的な地方工業工場と浅海養殖業の新たなモデル基地を現時代の思想と国力、文明の高さに相応した創造物として立派に建設した。

成川郡、載寧郡、粛川郡、銀波郡、鏡城郡、銀泉郡, 燕灘郡, 咸州郡、温泉郡、球場郡、雩時郡、高山郡、亀城市, 漁郎郡、長豊郡、金野郡、東新郡、雲山郡、伊川郡、金亨稷郡に現代的に立ち上がった地方工業工場と新浦市浅海養殖事業所。

まことに、新時代の地方発展史の第一ページを誉れ高く記した意義あるこの成果は、地方の飛躍的発展をいかに力に余っても果敢に担っていくべき歴史的課題として打ち出し、人民の夢と理想が全面的に実現される興隆強国の未来を確信を持って手繰り寄せていく偉大な党中央の以民為天、為民献身の指導と、党の構想と決心を無条件的かつ完璧に実行する人民と人民軍将兵の忠誠と愛国の力、一心団結の不敗の力がもたらした誇らしい結実である。

金正恩総書記は、こんにち、わが党と政府が特別に重視し、強力に推し進めなければならない先決課題は、新時代の地方発展政策を無条件的かつ完璧に実行することであると述べている。

地方人民に豊かで文明な生活を享受させようといつも気遣っていた総書記は、第1回市・郡党責任書記講習会で新しい地方発展期を開く構想を明示し、苦心と苦悩が相次ぐ献身の旅程で政策方向を定立し、全国の全ての市・郡の物質的・文化的生活の発展可能性を確認した上で、地方工業工場を完全に一新させる偉大な革命戦略を提示した。

2024年1月15日、最高人民会議第14期第10回会議で提示された「地方発展20×10政策」は、総書記が地方の世紀的な立ち遅れを払拭して地方の人民の宿望をかなえてやり、人々の認識領域で改変をもたらすために時宜にかなう選択をし、重大な決断を下した一つの大きな変革的路線、壮大な革命である。

朝鮮労働党中央委員会第8期第19回政治局拡大会議は、総書記の人民に対する熱烈な服務精神と偉大な革命家の敢然たる意志が集大成されたもっとも革命的かつ人民的で独創的な「地方発展20×10政策」の徹底した実行対策と方略を厳かに宣布した。

総書記は政治局会議を通じて建設に必要な資金と労力、資材を保障するための党的、国家的措置を講じ、地方工業工場の規模と生産能力を正しく設定する問題、工場の運営に必要な技術者、技能工を先を見通して養成する問題、原料基地の造成問題など合理的で現実可能な方案と発展志向的な方途にいたるまで具体的に明示した。

地方発展20×10非常設推進委員会が中央と各道に組織されて地方発展戦略を徹底的かつ完璧に実行するための全党的、全国家的な指導活動体系が整然と立てられ、人民軍の強力な力量が編成されて建設に迅速に進入し、地方発展政策はすべての道、市、郡と連関単位の最優先的な活動として展開された。

総書記は弛まない献身と労苦の長征を歩み続けながら、地方発展政策実行の初年の進軍をエネルギッシュに指導した。

2024年2月、金化郡への現地指導の夜明けの道を歩んだ総書記は、新しく建設する地方工業工場の建築形式と現代化の水準をもっと高く定めるようにし、建設において守るべき原則的要求と重要な課題を提示した。

総書記が成川郡地方工業工場建設の着工式に出席して、「地方発展20×10政策」の貫徹のために新しく組織された朝鮮人民軍第124連隊に連隊旗を自ら授与し、壮大な地方発展革命の開始を全世界に宣布したのは、愛国で団結して国家興隆の新しい転機を勢いよく開いていく総進軍隊伍に明るい未来に対する確信をさらに強く抱かせた意義深い契機となった。

地方の人民の宿望はわが党の宿願であり、地方工業の発展は地方の発展であり、地方の発展はすなわち国家の全面的繁栄・成長になるという崇高な雄志を抱いた総書記は、人民の福祉増進のための地方発展政策を不断に拡大深化させ、壮大な革命偉業の成功的実行を陣頭に立って指揮した。

総書記は地方工業革命の実質的な裏づけをもたらすために海岸線の長いわが国の自然地理的特性に即して海面養魚と養殖を積極的に奨励し、発展させるための方向と方途を明示し、海を控えている市、郡が海洋資源を効果的に開発、活用して自立的に発展することのできるモデル創造事業を党中央委員会が直接とらえて推し進めるという特別指示を下した。

総書記のエネルギッシュな指導の下に、典型的な海岸地域であり、住民数に比べて耕地面積が少ない咸鏡南道新浦市が浅海養殖のモデル単位に決められ、党中央委員会第8期第10回総会で新浦市浅海養殖事業所を浅海養殖業の新しい標本拠点として立派に整える問題が党決定として採択された。

新浦市の海辺で行われた地方経済発展関連協議会は、朝鮮式地方経済発展の画期的里程標をもたらした重大な転換点、人民の胸の中に新しい生活、新しい幸福の創造に対する自信感を強く抱かせたこんにちの「昌城連席会議」として朝鮮労働党の歴史に記された。

自らデザイナー、施工主、建設主となって平安南北道と咸鏡南道、黄海南道の地方工業工場の建設場を何回も訪ね、大建設活動を精力的に導く総書記の献身と労苦は実に大きかった。

亀城市、咸州郡、球場郡、載寧郡をはじめ、地方工業工場の建設場に対する総書記の歴史的な現地指導は、現代化、標準化、規格化の要求どおりに建設において高い質的水準を保証し、工場を朝鮮式文明と発展の直接的表現の実体として、時代の象徴物として完璧に建設するうえで画期的な契機となった。

地方経済を完全に新しくて先進的な土台の上で中興させるための壮大な活動が本格的なスタートを切った道程で党中央はまたもや重大措置を講じた。

総書記は、地方発展事業協議会と国境節に際して行った重要な演説などで、地方が画期的に発展し、全面的に興る新時代をより大幅に開くために地方工業工場の建設とともに保健医療施設と総合サービス施設、穀物管理施設を始めとする3大必須対象建設をもっと追加して地方中興の歴史的偉業を加速化するという新しい政策方向を提示した。

また、成川郡、載寧郡地方工業工場、新浦市浅海養殖事業所の竣工式に出席して、全国の各地域に新しい実体をうち建てることで、人々に地方が変わるという確固たる認識を与え、地方発展政策を多角的で豊かな経験に基づいてより科学的で正確に推進することのできる原動力を確保したことについて誇り高く言明しつつ、地方発展政策実行の新年度の建設事業を革命的に推し進めるための原則的問題と綱領的課題を明示した。

党中央委員会第8期第11回総会では地方工業工場とともに追加的に3大必須対象まで並行して建設することを党の新しい地方発展政策に正式に含める問題が討議決定された。

送年の終わりを意義深く装飾した成川郡地方工業工場と新浦市浅海養殖事業所の竣工をはじめ、2025年の序幕を立派に開いた各地の地方工業工場の竣工の大慶事により全国が歓喜と激情の熱波で連日沸き立った。

成川郡、鏡城郡、咸州郡、載寧郡、長豊郡をはじめ、経済土台が弱かった地方の人民は、地元のブランドをつけて量産される良質の消費物資を見ながら、自力更生、自給自足によって興る幸せな明日、都市に羨むことのない文明な物質文化生活条件をもたらした母なる党の深い配慮に激情を禁じずにいる。

朝鮮労働党の宿願活動の本格的な施行段階を確実に開いたさる1年間の闘争は、総書記が決心し展開するすべての活動はいつも立派な実体に転換されるという確信をより強くし、全人民に党の構想と指導を忠実に奉じ、自活・自決の精神力を高く発揮していく時、全面的発展の歴史的大業を必ず成就することができるという信念と楽観を与えた歴史に特記すべき壮大な創造大戦であった。

総書記の参加の下に行われた江東郡病院と総合奉仕所建設の着工式は、地方の実際的で新たな質的変化によって、文明・富強の国家建設をより早く、より活発に推進するための意義深い2025年度の大建設闘争の開始を宣言した歴史的な契機となった。

地方中興の初の実体とともに、自己の偉業の真理性と輝かしい前途に対する信念が全人民的な思想感情として非常に昇華される中で、朝鮮では新年度の建設着工式が次々と行なわれ、地方のより幅広くて実際的な中興を目的とした壮大な活動が各方面で活気に満ちて推進されている。

思想理論解説

社会主義、共産主義建設の戦略的路線

偉大な金正恩総書記の革命思想が明らかにした革命理論で重要な地位を占めるのは、社会主義、共産主義建設の戦略的路線に関する理論である。

金正恩総書記は次のように述べている。

「われわれは、社会主義建設の総路線と自強力第一主義を恒久的な戦略的路線として堅持し、社会主義強国の建設で偉大な勝利を収め、全社会を金日成・金正日主義化する歴史的偉業を立派に実現しなければなりません。」

社会主義、共産主義偉業の運命と前途は壮大な闘争目標を確信を持って実現しうる進路と原則と方略を明示する科学的で革命的な路線によって裏付けられる。

偉大な金日成・金正日主義は、人民政権を強化し、思想と技術、文化の3大革命を力強く繰り広げることを社会主義、共産主義建設の総路線として提示した。

偉大な金正恩総書記の革命思想は、金日成・金正日主義を深化発展させて、人民政権を強化し、その機能と役割を絶えず高め、思想、技術、文化の3大革命を力強くおし進めるという総路線を堅持しながら、自強力第一主義を具現することを社会主義、共産主義建設の戦略的路線として打ち出している。

偉大な金正恩総書記の革命思想が明らかにした社会主義、共産主義建設の戦略的路線は、第一に、人民政権を強化し、その機能と役割を強めることである。

人民政権は社会生活全般を統一的に管理する政治組織として社会主義集権党の路線と政策の執行者であり、人民大衆の自主的権利の代表者、創造的能力の組織者、人民生活に責任を持つ戸主、人民大衆の自主的で創造的な生活の保護者である。

人民政権を強化し、その機能と役割を高めてこそ、人民大衆の自主的権利と創造的活動を円滑に保障して社会主義制度を固守し、集団主義の威力を最大限に発揮して社会主義、共産主義建設を強力に促進することができる。

偉大な金正恩総書記の革命思想が明らかにした社会主義、共産主義建設の戦略的路線は、第二に、思想、技術、文化の3大革命を力強くくり広げることである。

3大革命路線は金日成主席が示し、朝鮮労働党が社会主義、共産主義建設で一貫して堅持している戦略的路線である。

全人民を党の思想で団結させ、経済の自立的で持続的な発展を裏付ける科学技術的土台を構築し、全人民を人材化し、あらゆる文化的後進性を一掃する3大革命の課題を遂行してこそ、社会主義、共産主義を建設することができる。

史上もっとも短い期間に人間も自然も社会も根本的に一新させたチュチェ朝鮮の偉大な変革は、あくまでも3大革命によって達成されたものであり、世人を驚嘆させる朝鮮のすべての奇跡は他ならぬ3大革命路線の勝利であると言える。

建国の当初から3大革命の旗を掲げなかったならば、自己の運命を自力で切り開く英雄的人民の出現も、廃墟の上で強国として浮上した朝鮮の驚異的な発展も考えられず、世界的な大政治動乱と前代未聞の挑戦にも動揺しない社会主義朝鮮の存在を想像することができないだろう。

偉大な金正恩総書記の革命思想が明らかにした社会主義、共産主義建設の戦略的路線は、第三に、自強力第一主義を高く掲げて進むことである。

自強力第一主義は社会主義政権党と国家が社会主義、共産主義建設の全行程において一貫して堅持すべき戦略的路線である。

自強力とは一言で言って、自分自身が自らを強くする力である。

言い換えれば、他人に依存してではなく、自分で祖国と人民の尊厳と安寧、繁栄と幸福を保証しうる国家の政治軍事的および経済技術的力の総体がすなわち自強力である。

自強力の粋は他人に依存することなく、自分の力で生きていこうとする強い精神力といかなる不利な条件と環境の中でも奇跡を創造する科学技術力である。

自強力第一主義は自分の力と技術、資源に依拠して主体的力量を強化し、自分の前途を切り開いていく革命精神である。

自強力第一主義の思想的・精神的基盤は、自国の革命は自力でなすべきであるという偉大な金日成主席と金正日国防委員長の革命思想であり、自強力第一主義を具現するための闘争方式は、自力更生、刻苦奮闘である。

自強力第一主義を具現するためには、全人民を自力自強の闘士、自力更生の先駆者に育成する活動を第一義的な問題として捉え、社会主義、共産主義建設におけるすべての問題を自分の力と技術、資源に依拠して解決する気風を確立しなければならない。

偉大な金正恩総書記の革命思想が明らかにした社会主義、共産主義建設の戦略的路線は、チュチェ思想に立脚し、朝鮮革命の歴史的経験に基づいた科学的で革命的な戦略的路線である。

社会主義の基本政治方式

社会主義の基本政治方式は、社会主義社会の存立と発展を裏付け、社会主義の他の政治方式の作用を規制する政治方式である。社会主義の基本政治方式はチュチェ思想によってはじめて明示され、偉大な金正恩総書記の革命思想によって新たに確立、体系化された。

偉大な金正恩総書記の革命思想は、金日成・金正日主義が明らかにした社会主義の政治方式に関する思想理論を新時代の革命実践の要求に即して深化発展させ、人民大衆第一主義政治が社会主義の基本政治方式であることを闡明した。

金正恩総書記は次のように述べている。

「わが党は、史上初めて人民重視、人民尊重、人民愛の政治を施し、終生人民のためにすべてを捧げた金日成同志と金正日同志の高貴な志を体し、今日も明日も、永遠に人民大衆第一主義の聖なる歴史をつづっていくでしょう。」

人民大衆第一主義政治は本質において、人民大衆の尊厳と権益を絶対的に擁護し、人民大衆に徹底的に依拠してすべての問題を解決し、人民のために奉仕する政治方式である。

人民大衆第一主義政治が社会主義の基本政治方式となるのは、それが社会主義政治方式の要求を集大成し、立派に実現する政治方式であり、社会主義偉業遂行の全期間にわたって恒久的に堅持すべき政治方式であるからである。

人民大衆第一主義政治は、まず、社会主義政治方式である自主政治、民主主義政治、人徳政治の要求を集大成し、徹底的に実現する政治方式である。

自主政治は自国人民の民族的独立と自主権を固守し、自国人民の利益を擁護し、自国人民の力に依拠して実施する政治である。自主政治の基本要求は、真の人民の政権を打ち立て、自らの政治勢力をしっかりと打ち固め、自己の指導思想を持って自国人民の要求と利益に即した路線と政策を策定、実行し、対外関係において完全な自主権と平等権を行使することである。

自立、自力でもって国家と人民の安寧を守り、国家の復興、発展を遂げるようにして自主政治の要求をもっとも高い境地で具現している政治だというところに、人民大衆第一主義政治が社会主義の基本政治方式となる根拠がある。

人民大衆第一主義政治は民主主義政治の要求を正確に具現し実現する政治方式である。

社会主義的民主主義は、人民大衆が国家と社会の主人としての地位を占め、責任と役割を全うしていく政治、人民大衆の意思を集大成した政治である。社会主義的民主主義の基本要求は、人民大衆に真の政治的自由と権利を保障し、個人の自主性とともに集団の自主性を円満に実現し、誰もが社会の平等な成員として互いに助け、導き合いながら自主的で創造的な生活を思う存分営むようにすることである。

人民大衆を政治の主人、政治の担当者に推し立て、人民大衆に真の自由と権利、張り合いのある幸せな生活を保障し、人民に依拠して彼らの理想と念願を実現することによって民主主義政治の要求を徹底的に具現している政治だというところに、人民大衆第一主義政治が社会主義の基本政治方式となる根拠がある。

人徳政治は、愛と信頼でもって人民の運命を責任を持って導く政治方式である。人徳政治の基本要求は、社会主義政権党を母なる党として建設し、幹部が人民のために奉仕する真の忠僕となり、権柄と官僚主義、不正・腐敗行為を徹底的に克服して、人民大衆が尊厳ある幸せな生活を思う存分営むようにすることである。

滅私奉仕の精神でもって人民の運命と生活を全的に責任を持って見守り、子々孫々の未来まで全部受け持つことによって人徳政治の要求を最上の境地で具現していく政治だというところに人民大衆第一主義が社会主義の基本政治方式となる根拠がある。

人民大衆第一主義政治はまた、社会主義偉業遂行の全期間恒久的に捉えていくべき政治方式である。

社会主義の基本政治方式は、社会主義の本態を固守し、その発展を確固と裏付ける政治方式である。

社会主義は集団主義に基づいた社会であり、社会主義建設の勝敗は社会主義の本態と優位性をいかに固守し、生かしていくかに掛かっている。

人民大衆第一主義政治は党の唯一的指導と国家の統一的指導を確固と実現し、社会生活のすべての分野で集団主義的原則を徹底的に堅持し、人民の健康と安寧を守り、人民的施策をたゆみなく拡大・強化し、誰もが等しく安定した生活を営むようにして社会主義の集団主義的本態を固守するようにする。

人民大衆第一主義政治が徹底的に実現されるほど人民があらゆるものの主人となり、すべてが人民のために奉仕する社会主義社会の集団主義的性格と本態が確固と固守され、その本質的優位性がはっきりと誇示されるようになる。

社会主義社会発展の基本推進力は、自主意識で武装し、党と領袖の周りに固く団結した人民の高い革命的熱意と創造的積極性である。

人民大衆第一主義政治は党と革命隊伍の思想的一色化と組織的団結、道徳的・信義的統一を確固と実現し、一心団結、渾然一体の威力でもって革命と建設を勝利へと導いていく。

党と国家活動において思想第一主義原則を一貫して捉え、すべての活動に思想活動、政治活動を確固と優先させ、大衆の精神力と創造力を奮起，昇華させ、忠実性の伝統、愛国の伝統を堅持し、社会主義愛国運動、革命的な大衆運動を活発に組織・展開して、忠誠と愛国の偉大な力でもって国家の復興、発展を強力に進めていく。

社会主義社会発展の合法則的要求と新時代の革命実践の要求に即して国家発展の原動力を主動的につくりあげ、その威力を最大限発揚させて社会主義偉業を力強く前進させていく、ここに社会主義の基本政治方式としての人民大衆第一主義政治の絶対的優位性と百勝の威力がある。

人民大衆第一主義政治は、偉大な金日成主席と金正日国防委員長の人民重視、人民尊重、人民愛の貴い志を奉じて、人民に限りなく忠実し、人民の力に依拠して共産主義の明るい未来をたぐり寄せようとする朝鮮労働党の為民献身の意志によって生まれた、名実相伴う朝鮮労働党の社会主義の基本政治方式である。

偉大な金正恩総書記の革命思想の歴史的地位

偉大な金正恩総書記の革命思想はチュチェ革命偉業を立派に継承し、完遂するための新時代の党と革命の唯一なる指導思想であり、自主時代を導く不滅の戦闘的旗印である。

金正恩総書記は次のように述べている。

「新たな歴史的転換期に入ったチュチェ革命偉業は、わが党の指導の下に全面的に継承され、力強く前進しています。」

偉大な金正恩総書記の革命思想の歴史的地位は何よりもまず、全社会の金日成・金正日主義化の旗を高く掲げて、白頭で切り開かれたチュチェ革命偉業をあくまで完遂するための新時代の党と革命の唯一無二の指導思想だというところにある。

偉大な金正恩総書記の革命思想はまず、チュチェの社会主義偉業を百勝へと導く指導思想である。

人民大衆第一主義の政治理念と政治方式に関する思想、党と国家の存在方式、活動方式に関する思想、新しい建設政策と農業政策、育児政策、幹部の活動方法と仕事振り、精神的・道徳的品性に関する思想を始めとする偉大な金正恩総書記の革命思想は、人民大衆中心のチュチェの社会主義の本態を固守し、その優越性と生活力を最高の境地で輝かせていく上で提起されるすべての理論的・実践的問題に全面的で科学的な解答を与えている。

白頭の革命伝統をしっかりと継承し具現するという思想、信頼の哲学、思想第一主義原則を始めとする偉大な金正恩総書記の革命思想が明らかにした原理と内容は、国家特有の国力であり、チュチェ朝鮮の絶対兵器である党と大衆の渾然一体、一心団結の威力をすべての面で強化し、朝鮮式社会主義偉業を勝利的に前進させていくべき方略と指針を明示している。

偉大な金正恩総書記の革命思想はまた、朝鮮民主主義人民共和国の限りない繁栄と人民の永遠な幸福を確固と保証する指導思想である。

新時代の党建設の5大路線は、朝鮮労働党を政治的に円熟であり、組織的に強固であり、思想的に純潔であり、規律において厳格であり、作風において健全である党として強化発展させ、党と革命の千万年の未来を確固と保障するようにする、万年の党建設綱領として朝鮮労働党が自己の性格と本態を変わりなく堅持し、指導力と戦闘力を向上させるための道を明示している。

経済建設と核武力建設の並進路線と国家核武力政策を始めとする偉大な金正恩総書記の革命思想は、人民と次世代が永遠に戦争の惨禍を知らず、尊厳ある強大な国で子々孫々福楽を享受しうる実際の裏付けをもたらした。

白頭山精神に関する思想、独創的な革命家後備育成思想、青年重視思想を始めとする偉大な金正恩総書記の革命思想は革命偉業継承の不滅の指針を明らかにすることによって、朝鮮革命を代を継いで勝利的に前進させていける道を明示している。

偉大な金正恩総書記の革命思想の歴史的地位は、次に、現時代の要求に応じて帝国主義反動勢力の侵略と略奪、強権と専横を打ち砕き、国と民族の自主権と生存権、発展権を守護し、正義の平等な国際秩序を確立するための進歩的人民の闘争を力強く鼓舞、激励する不滅の戦闘的旗印だというところにある。

偉大な金正恩総書記の革命思想は何よりも、世界の自主化偉業の主体である反帝自主勢力をかつてなく拡大、強化するための進路と方略を明示する指導的旗印である。

反戦平和愛護勢力としての非同盟運動の根本理念と性格を固守し、成員国間の団結と協力を強化することの思想、自主性を擁護する党と団体、進歩的諸国が反帝自主の旗の下に団結し、協力すべきだという思想をはじめとする偉大な金正恩総書記の革命思想は、反帝自主勢力を拡大、強化する上で堅持すべき原則的問題に全面的な解答を与えることによって世界自主化偉業の主

体である反帝自主勢力の決定的優勢を確固と保障するための進路と方略を全面的に明示している。

偉大な金正恩総書記の革命思想は次に、自主と正義のとりで、社会主義の強力なとりでとしての朝鮮民主主義人民共和国の国際的地位と影響力をかつてなく拡大、強化して世界の自主化のための進歩的人民の闘争を力強く鼓舞、激励する戦闘的旗印である。

新しい並進路線と共和国核武力政策の法化、核武力を質量的に強化し、先端化された武装装備開発により一層拍車をかけるという思想、軍事的強勢を不可逆なものにするという思想など、偉大な金正恩総書記の革命思想は、アメリカの一方的な核恐喝にピリオドを打ち、朝鮮半島と世界の平和と安全を頼もしく守護していける進路をはっきりと明示している。

国際的正義を実現するという思想、国威向上、国益守護の方針を始め、偉大な金正恩総書記の思想と方針は、朝米間の力学関係を劇的に変化させ、共和国の威相と国際的地位を最高の境地に至らせた指導的指針として、共和国が国際舞台で自主的立場を確固と堅持し、正義の世界秩序を樹立するための進歩的人民の闘争を主導していくための原則と方途を全面的に明示している。

現時代のもっとも傑出した思想家・理論家であり、卓越した政治家であり、人民愛の最高化身である金正恩総書記の偉大な思想と指導があるがゆえに、朝鮮労働党と人民は人類の世紀的悲願である共産主義社会を人より先に建設するだろうし、帝国主義反動の侵略と略奪、強権と専横を打ち砕き、地域と世界の平和と安全を守護し、国際的正義を実現するための時代の流れはますます激しくなるであろう。

朝鮮人民革命軍が創建された4月25日が持つ政治的意味

金正恩総書記は2025年4月25日、朝鮮人民軍海軍駆逐艦の進水記念式で行った演説で、朝鮮で初の革命的武装力である朝鮮人民革命軍が創建された1932年4月25日が持つ重大な政治的意味について新たに明示した。

金正恩総書記は次のように述べている。

「朝鮮人民革命軍の創建により、朝鮮人民は史上初めて自らの真の軍隊を持つようになり、この時から銃剣の威力によって前進する朝鮮革命の栄えある歴史が始まりました。」

総書記は演説で、われわれにとって4・25は、自分の政権の樹立と自分の党の創立を迎える以前に開始され、あらゆる運命的な出来事を創出した血のにじんだ武装闘争の始発点であるとし、これはすなわち、わが人民の真の武装力の誕生を意味すると同時に、明確な目的意識性を持って自己の運命開拓に自主的に臨む朝鮮革命家の断固たる立場の表明であったと言えると述べた。

続けて総書記は、自分の主動的な意思と責任ある選択によって武装闘争を決断し、不屈の革命信念と決死の闘争によって国権を取り戻し、民主政権を樹立する意志が厳かに表明された日だというのが、朝鮮の初の正規の革命武力を誕生させた1948年2月8日に先立って、大きな政治的意味をはらんだ1932年4月25日に対するわれわれの世代の再透視であると誉れ高く宣言した。

朝鮮を知ろう

今日の朝鮮

朝鮮労働党の教育重視政策

金正恩総書記は次のように述べている。

「国家的に教育を重視し、教育部門に対する投資を系統的に増やし、全社会的に教育部門を積極的に支援しなければなりません。」

朝鮮労働党の教育重視政策は、教育事業を国事の中の国事とし、その発展に第一義的な意義を付与する政策である。言い換えれば、教育事業を他のすべての事業に確固と優先させ、いかに困難な状況の下でも次世代教育活動は一時も中断したり、おろそかにしてはならないというのが朝鮮労働党の教育重視思想であり、政策である。

教育重視政策は朝鮮労働党が社会主義建設において恒久的に捉えていく政策である。

解放後、金日成主席は党のマークを制定する時、ハンマーと鎌の中に筆を立てながら、これには労働者や農民が今後は新たな知識と技術を所有して新しい祖国建設に積極的に寄与すべきであるという意味も込められていると教えた。

朝鮮労働党は偉大な金日成主席と金正日国防委員長、金正恩総書記の賢明な指導の下に教育事業を国の繁栄と人民の幸せのための重大な問題と見なし、革命発展の各時期と各段階に教育を重視してそれに常に第一義的な力を入れることにより、人民大衆を社会の真の主人として成長させてきた。

金日成主席は臨時人民委員会第一回会議の最初の議案で鉛筆問題を討議するようにして朝鮮労働党の教育重視政策を全世界に宣布し、がらんとした金庫と帳簿しかなかった新しい祖国建設の初期に農民たちが愛国の心を込めて捧げた愛

国米でもって人民の総合大学を建設し、勤労大衆の息子と娘たちを勉強させ、革命の人材に育て上げた。

主席は、苛烈な戦火の日々には前線に赴いた大学生を大学へ呼び戻して勉強させ、軍需物資を輸送する車で教科書を運搬するようにし、働きながら学ぶ人材養成基地の始原である工場大学も創設するようにした。祖国の未来、民族の将来が教育事業にあると確信して教育重視の新しい歴史を切り開いた主席の賢明な指導によって解放後、朝鮮人民は短期間に文盲を退治することができ、朝鮮は世界で初めて全般的11年制義務教育を実施した国となった。

1990年代は朝鮮で生存自体が奇跡であった苦難の行軍、強行軍の厳しい時期であった。

しかし、この時にも校庭の窓辺から学びの声が高らかに響いたのは、教育事業を民族の将来を決定する重大事とみなし、億万金も惜しまなかった金正日国防委員長の指導を離れて考えられない。

いつか、幹部たちと席をともにした国防委員長は、もっとも革命的なわが思想、わが銃剣に最新科学技術が結合されれば、革命と建設において偉大な変革が成し遂げられ、わが国、わが祖国は不敗の強国に、すべてが興り、繁栄する真の人民の楽園に転変されるだろうと述べた。

国防委員長は、さる世紀90年代の苦難の行軍、強行軍時期から生涯の最後の時期まで人材育成が一瞬間でも中断されれば国の百年の大計が崩れるという揺ぎない信念を持って、全国の各教育単位を数限りなく訪ねながら教育事業に常に第一義的な関心を払った。

それがゆえに、もっとも困難な環境の中でも朝鮮では教育活動が一瞬間も中断されたことがなかったし、その絶え間ない発展を成し遂げることができたのである。

今日、金正恩総書記は、主席と国防委員長の崇高な意志を受け継いで、教育重視、人材重視の旗を高く掲げている。

総書記は、ほかの事業ではわれわれの世代が果たせないことがあっても、次世代によって補われるが、次世代を育成する事業をおろそかにするならば、それは誰も補うことができないとし、国の教育発展のための活動に大きな心血を注いでいる。

総書記は、教育部門を現代化し、教育の質を高める問題は国家の重大事であり、国家の将来と関わる重大かつ戦略的な問題である、教育と関連した問題では些細なものまでおろそかにしてはならない、国家的に教育部門を最優先視する気風、紀綱を確立すべきである、これは党の要求、革命の要求であるとしながら全国に前例のない教育重視の熱風が燃え上がるようにしている。

今日、朝鮮労働党は教育事業で大革命を起こして国の教育水準を短期間にもっとも発達された水準に確固と引き上げ、すべての学生たちを富強な祖国を担っていく革命人材として育てる目標を立てて闘争している。

朝鮮労働党が要求する人材は党と革命、祖国と人民を知り、社会主義建設に奉仕する革命人材、深みのある専門知識と多方面にわたる知識、高い探求能力と応用能力を備えた創造型の人材である。

こうした人材を育てるために朝鮮労働党は2024年12月に行なった党中央委員会第8期第11回総会で、国家的な力を入れて最短期間に国の教育土台を新たな高さに引き上げるための闘争課題を明示した。

国家が全面的な責任をもって学用品と教具・校具、教育機材の問題を解決し、教育者と児童・生徒・学生に最大限の活動条件、学習条件、生活条件を保障する方向に確固と進まなければならないというのが朝鮮労働党の崇高な意図である。

党中央委員会総会では、教育土台の強化において最も大きな意義を持つ学校の改修・近代化を国家挙げての事業として力強く推し進め、今後10年内に全国の全ての学校を一新させるための大胆な目標を立て、この事業を粘り強く推し進めるようにした。

また、普通教育部門で基礎教育の質を保障して全ての児童・生徒・学生の知的水準を絶えず高め、教育者の水準を向上させて教育部門を全般的にもり立て、都

市と農村間の教育水準の格差を減らし、国家的に障害者のための教育サポートシステムを確立することをはじめ、教育部門がその目的と使命を円滑に遂行していけるようにするための問題が強調された。

今日、社会主義強国建設の雄大な目標を目指して絶えず飛躍しながら自主、自存の精神と息吹が込められた貴い成果を遂げている朝鮮民主主義人民共和国の驚異的な現実は、朝鮮労働党の教育重視政策の正当さを実証している。

全国の市・郡に建設される病院と総合奉仕所、穀物管理所について

人民生活を絶えず向上させることを党活動の最高原則、重大な革命課題として打ち出し、頑強に実践していく朝鮮労働党は地域的拠点である市、郡を実際的に、物質的に、計画的に発展させるために、地方に軽工業工場を建設するという「地方発展20×10政策」を打ち出し、その実行を力強く推し進めている。

この地に生まれた人なら、首都や地方、都市や山村を問わず、どこに住んでいようとも等しく国家の社会主義的施策の下で裕福かつ文化的な生活を享受すべきであり、また必ずそれを実現しようというのが朝鮮労働党の変わらない意志である。

人民のためのことでは満足を知らず、一つを与えて十、百をもっと与えたがる朝鮮労働党は、各市・郡に幾つかの地方工業工場を建てることだけでは、地方に残っている長年にわたる立ち遅れを完全に払拭し、持続的な発展軌道に乗せるのに不十分であると見なし、全国の市・郡に保健医療施設と複合型文化中心、穀物管理施設を追加的に建設することを決心した。実際の結実、目に見える変化が地方人民にもっと多く、もっと熱く行き届くようにするためには、すべての市、郡に軽工業工場とともに三つの対象を無条件追加的に建設しなければならないというのが朝鮮労働党の確固たる立場である。

それがゆえに、朝鮮労働党は創党以来、建国以来かつてなかった地方中興の壮大な創造闘争に史上初の努力を傾けており、その実現の上でさらに必須不可欠の要求となっている先進的な保健医療施設と科学・教育及び生活文化施設、穀物管理施設の建設を新しい地方発展政策に含める問題を党中央委員会第8期第11回総会で決定する特段の措置を講じ、その実行対策を明示したのである。

今後、各市・郡に建設される病院は、地域の人口によって4部類に分けられるが、2025年には江東郡と竜岡郡、亀城市にそれぞれ異なる規模で一つずつテストケースとして建設することになり、今年にこの3つの病院を立派に建設してモデルを作り、経験も蓄積し、2026年からは毎年必ず20の市・郡に病院を同時に建設するようになる。

また、図書館ばかりでなく、映画観覧を始めとする多様な文化情緒生活が営める多機能ホールと便宜施設、商店と金融奉仕施設まで揃えた地方発展史上概念さえなかった総合奉仕所が建設されて、地方人民の思想意識と文化生活領域では実際の跳躍と変革が成し遂げられ、首都と地方の差、都市と農村の文化的格差は完全になくなる。

穀物を加工･保管する複数の施設を通称する穀物管理所も既存の施設を補修する程度の消極的な態度ではなく、国家が直接捉えて新たに建設することで苦労して取り入れた穀物を一粒も無駄なく保管管理し、特に人民に質的に加工された食糧を供給することができる。

このように全国のすべての市､郡に地方工業工場とともに先進的な病院と総合奉仕所、穀物管理所まで建設されれば地方のすべての地域が軽工業の土台ばかりでなく近代的な文明と技術に依拠する持続的な発展環境を整えて人民により改善された生活を提供するようになり、さらには科学、教育、保健医療の進歩を中核原動力とする国家の全面的発展の綱領を実現する上で大きな前進をもたらすようになる。

もちろん、すべての市、郡に近代的な病院と総合奉仕所、穀物管理所を建設するというのは決して容易なことではない。病院の建設一つだけを見ても住宅や産

業建物の建設に比べて何十倍の手数がかかり、高い施工技術と高価の資材、多くの資金が必要である。

しかし国家の復興発展と人民の福利増進をより早く、より確実に推進するために朝鮮労働党は2025年にテストケースとしてモデル対象を建設し、経験を蓄積するようにした。

全面的振興の新しい領域と境地を開拓し、強力に推進される「地方発展20×10政策」江東郡病院と総合奉仕所建設の着工式が朝鮮民主主義人民共和国の首都平壌で2025年2月6日に盛大に行われた。

金正恩総書記が着工を記念して意義深い演説を行った。

総書記は演説で、都市と農村の格差を根源的に、最終的に解消する上で地方の人民の文化生活環境を改善するのが持つ緊迫さに言及し、全国が文化水準においても統一されるようにするのが地方発展政策の理想的な結果であると強調した。

総書記は、各市・郡に近代的な保健医療施設と多機能化された文化生活拠点を建設するのは、各分野、各地域の同時的・均衡的発展を促し、社会主義の完全な勝利を早める上で戦略的価値の大きい重大事業であり、一刻も遅らせることのできない焦眉の課題であるとし、地方の百年の大計はすなわちわが国家の百年未来であり、朝鮮式社会主義の前途であると述べた。

江東郡病院と総合奉仕所建設の着工式に次いで亀城市と竜岡郡で病院建設の着工式が、定平郡と開豊区域で総合奉仕所建設の着工式が、黄州郡で穀物管理所建設の着工式が行われ、新時代の地方発展政策の寸分のずれもない実行のための2025年の大建設の闘争が力強く展開された。

金正恩総書記は2025年6月2日、新しい繁栄の財産、文明・興隆のモデルの実体として建設されている江東郡病院と総合奉仕所の建設場を現地指導した。

総書記は、建設進捗状況を確認し、全国の市・郡に近代的な保健医療施設を建設する事業は、どの部門よりも立ち遅れていた保健医療部門を10年間にどの部門よりも著しく振興させるための一つの大きな革命である、われわれは倍加された奮闘力を発揮し、この変革的な計画を成功裏に達成する過程を通じて、人民への

われわれの奉仕精神と態度について再度点検を受けなければならないと述べ、全ての市・郡病院を党の保健医療近代化構想と主体的建築美学思想が完璧に具現された社会主義保健医療のシンボルとして立派にうち建てる決心と意志を改めて披瀝した。

総書記は、国の全般的な保健医療の振興のために今年モデルケースとして建設するこの対象を含んだ３つの相異なる規模の病院を責任を持って建設することが持つ重要性に言及し、総合奉仕所を訪ねては、党の地方発展政策を寸分のずれもなく実行する上では何よりも建設陣容をしっかり準備させることが最も重要である、全ての建設連隊が技能工の養成を死活にかかわることと見なし、科学的な目標と計画をもって技能工を養成しなければならないと特に強調した。

江東郡病院と総合奉仕所の建設場に対する現地指導に次いで6月9日、2025年度に建設するモデルケースの一つである亀城市病院の建設場を訪ねた総書記は、わが党の地方発展政策を実現するための壮大な闘争は、地方の積年の立ち後れと後進性を根源的に、最終的に一掃するための革命であると同時に、建設部門に残っている古い因習と文化、古い技術を新時代にふさわしく変革していく過程に、全ての建設者を新しい文化、新しい文明の創造者、真の社会主義建設者に育成する歴史的工程になるべきだと述べ、新時代の建設革命で施工陣容の強化の重要さについて重ねて強調し、その解決における重要な課題を提示した。

偉大な党中央が人民のために下した特段の措置、先進的な病院と総合奉仕所、穀物管理所の建設、これは名実共に金正恩総書記の為民献身がもたらした滅私奉仕の凝結体であり、総書記の卓越した指導力と頑強な実践力によってのみその輝かしい実行が確固と保証される歴史の大業である。

朝鮮労働党は一旦決心すれば必ず実行し、人民との約束は無条件に守る崇高な責任感と頑強な実践力を持った不敗の党である。

人民が望む夢と理想を最短期間内に、最上の水準で成し遂げようとする朝鮮労働党の雄志によって、そして人民の党、人民の国、人民の世のなかをより忠実に

奉じていこうという強烈な人民の志向と念願、不屈の闘争によって地方中興の歴史的大業は必ず成就されるだろう。

450ヘクタールの温室農場が建設される

2025年2月10日、朝鮮民主主義人民共和国では最大規模の温室農場と野菜科学研究中心の建設着工式が盛大に行われた。

この日、着工式に出席した金正恩総書記は激励の辞で、やがて建設者たちが打ち建てるのは大規模の温室農場であるが、その絶頂に浮上するのは尊厳あるわが国家の権威であり、愛する人民の美しい生活であり、近づくわれわれの遠大な理想であるとしながら、母なる祖国の限りない繁栄のために前進しようとアピールした。

金正恩総書記の構想と意図に従って、これからここには、最近建設された大規模温室農場を全部合わせたものよりも膨大な面積にさまざまな類型の野菜温室と野菜加工工場、貯蔵施設だけでなく、野菜科学研究中心と試験栽培温室、数百世帯の住宅と旅館、便益サービス施設まで同時に建設される。

今後鴨緑江のほとりにずらりと立ち並んだ現代的な住宅を背景に、科学化・情報化された大規模の野菜温室が建設されれば、この島の地区は自己の強力な発展潜在力を持つ地方発展の新しい手本となるであろうし、この最大規模の温室は人民生活の向上に大きく寄与するであろう。

朝鮮の浅海養殖業の発展展望

浅海養殖は現代海洋産業の重要部門として、有利な海の水域にさまざまな養殖施設を設置し、様々な方法で水産動植物の繁殖と養殖の環境を積極的に造成し、制限された範囲の面積で生産量を増やすための意識的な水産活動である。

朝鮮で浅海養殖業こそは、海漁業の季節的制約を克服しながら有利な海洋地理的条件を積極的に利用して水産物の生産を画期的に増やすことのできる、その発展展望と勝算が確固たる活動である。

朝鮮の東海と西海には浅海養殖に有利な条件が十分に整えられている。

まず、朝鮮東海は水質、水深、水温などの各側面で浅海養殖に有利である。

海岸線が単調で島が割合少ない方であるが、東朝鮮湾を始めいくつかの湾があって浅海養殖に有利であるばかりか、特に全般的な水域が清く澄んでいて水流がよく、海底の地形が海岸の近くまで深いので養殖場を近く展開することができ、豆満江を始めとする大小の河川が流れ込んで、栄養塩類の含有量が高いなど、よい条件が作られている。

また、南北に長く置かれていて南北間の水温差が大きいし、夏季に太平洋高気圧の影響を受けて年中海が静かであり、沿岸で潮が弱くて塩気が大して変わらないばかりか、暖流と寒流の影響を受けるので多様な養殖対象を選定することができる。

朝鮮西海もやはり自分の固有な特性から浅海養殖に有利な条件を持っている。

朝鮮西海は海底の地形が大抵浅い海として沿岸から海の方へある程度出ても深くないし、全般的に海底区域が大陸棚になっているので昆布とわかめはもちろん、海苔の養殖にとても有利である。

特に西海を囲んだ地域の大きな河川によって多量の河川運搬物が流れ込んで底質の状態がよく、基本海流が暖流であることから高い水温を要する養殖対象を選定することができる。

西海は浅くて複雑な地形によって潮差が大きいし、これによって水温、塩気、飼料生物の分布状態が周期的に変わることは浅海養殖に有利なもう一つの条件となっており、塩気が東海より低くて浮遊生物が多いのではまぐり、あさり、まて貝、赤貝などの動物とわかめ、海苔、昆布などの植物を養殖対象として選定することができる。

朝鮮で浅海養殖業はそこから得る経済的効率も大変大きい。

一般的に、浅海養殖は投資に比べて実利が5～10倍である。

帆立貝養殖場1ヘクタールを4名の労力で管理する場合、年毎に総生産高は投資額の2倍以上に上り、昆布養殖でも養殖場1ヘクタールを2名の養殖工が管理する場合、毎年少なからずの利益を得ることができる。

貽貝養殖でも1ヘクタールの養殖場を2名の労力が管理して毎年投資額の2倍に達する利潤を得ると見れば、養殖場で少ない労力で得られる経済的効率は大変なものである。

金正恩総書記の賢明な指導の下に、国の自然・地理的特性に即して海を有用に利用して人民の生活を一日も早く豊かにさせるための朝鮮の浅海養殖業は今日目覚しく発展しており、その展望と勝算も大きい。

朝鮮の増産競争運動はどういう運動であるのか

増産競争運動は勤労大衆の積極性と創造的発起、相互扶助と同志的協調に基づいて生産で高揚を起こすための大衆的運動である。

増産競争運動は朝鮮人民特有の闘争方式であり、社会主義建設を力強く前進させていく威力ある手段である。

増産競争運動は金日成主席が1946年2月に発起した労働英雄運動から始まった。労働者、農民の個別的革新を主とする競争運動である労働英雄運動が急速に拡大されて出現した増産競争運動は、労働者階級の中で建国増産競争運動、増産突撃運動に深化・発展され、農民の中では農産物の増産運動に発展された。

戦時には前線作業班運動、前線支援青年作業班運動などを始めとする色々な増産競争運動が力強く展開され、戦後復旧建設の時期には部門別、企業所間の競争によってその範囲が拡大され、競争を組織する体系が整備され、集団的技術革新運動と密接に結びついて行われた。社会主義建設の時期に増産競争運動はより高い社会主義競争運動として発展し、革命と建設に大いに寄与した。

この運動の目的は勤労者の中で創造的熱意と積極性を高く発揮させて人民経済計画を完遂及び超過完遂し、生産の絶えない高揚を保障することにあった。

人々の党に対する忠誠心、他人より先んじろうとする競争心、革命的熱意と創造的積極性を最大に発揮させ、すべての部門、すべての単位で新しい記録、新しい基準を創造し、集団的革新、連帯的革新を巻き起こすようにするというところに増産競争運動の優位性がある。

増産競争運動は、内部の潜在力を探し出し、先進的な技術とよい経験を一般化して生産組織と労働組織を改善し、労働生産能率を絶えず高めることを基本内容としている。

朝鮮労働党の呼びかけに常に愛国的な増産でもって応えた朝鮮人民の英雄的闘争に支えられて前進してきたのがまさに世人を驚嘆させた朝鮮民主主義人民共和国の聖なる発展行路であり、この伝統をしっかりと引き継ぐことに集団主義に基づいた社会主義制度を固守し、一層発展させるための確固たる裏づけがある。

朝鮮の成川温泉

平安南道成川郡は朝鮮の有名なタバコの産地であり、古くから絹と甘栗で有名な地方である。成川郡にはまた、朝鮮で有名な鉱泉の一つである成川温泉もある。

温泉は血液の循環と代謝を円滑にさせ、鎮痛、消炎、鎮静の作用をし、有機体の活動をよくしながら機能回復を促進させるので、いい治療因子となっている。

成川温泉は成川郡温井里に位置している。

温泉の主要なイオン成分としては水素炭酸イオン、ナトリウム・イオンがある。また、ラドン、硫黄などが含まれている。温度は45.5℃、pHは8.6で、一日の溶出量も少なくない。

成川温泉は神経系統の疾患と婦人病、手術後遺症、リューマチス性関節炎などの治療に特効があると知られ、毎年多くの人々がここを訪れてくる。

最近年には全身麻痺の数名の戦傷栄誉軍人たちが温泉治療を受けて大地を闊歩するようになった。

治療予防施設としては機能回復治療室、物理治療室、矯正治療室などがある。

治療は温湯とミネラルウォーター飲みを基本にしながら鉱泉による腸洗浄、機能療法などをしている。

金正恩総書記は2024年12月20日「地方発展20×10政策」成川郡地方工業工場の竣工式で行った演説で、地元固有の顔と潜在力を活かし、交通上の有利な点に基づいて沸流江沿岸と成川温泉をはじめとする文化観光資源もよく開発・利用することについて明示した。

今、成川郡では成川温泉を文化観光資源として積極的に開発・利用するための実際的な対策が講じられている。

白頭山地区の魅力———体育観光名所

白頭山地区は特色ある複合型山岳観光地区、四季の山岳観光地区として開発しうる条件が十分に整えられている。人民の文化的な要求を最高の水準で満たし、国際観光も活性化しうる白頭山地区、そのもう一つの魅力は体育観光の名所だということにある。

三池淵市には既に白頭山地区体育村が立派に建設され、多くの人々がここを訪ねて冬季体育活動を行っている。2024年12月に運営を始めた時からここを訪れる人々の数は今まで数万人、時間が流れるほどその数はますます増え、連日賑わっている。

白頭山地区体育村のある活動家は、このように膨大で広いスキー・コースであるが、雪が降らない場合を予見して高性能のスノー・ガンと雪固め車が常に待機状態にあり、いつでもその使用が可能なので雪の保障は問題がないとし、スキーはもちろん、スケート、そりなど冬季体育活動と遊戯を多様に行われる条件が円満に整えられて、誰も一旦ここに来れば時間の流れを忘れる、すぐ発とうとしないと誇らしく言っていた。

体育観光で第一の関心を集めているのは、すばらしくて立派なコースを縦横無尽に滑り降りるスキー乗りである。

人々に若さと勇敢さ、大胆さ、機敏性を与えるスキーも良いが、アイスホッケーリンクとスピードスケートリンクの光景も異彩を放つ。

アイスホッケーの選手たちの訓練が終わると階段式観覧席に座っていた人々がリンクに下りて来てスケート乗りで時間を過ごす。スピードスケートリンクではスピードスケートの選手たちの訓練の姿を見ることができる。

そればかりではない。

ロップウェーに乗ってベゲ峰（枕峰）に上り、展望台に立って朝鮮労働党の賢明な指導の下に山間文化都市のモデルとして、新しくて革新的な文明都市として自分の姿を一新した三池淵市を一目で見渡す喜悦はまた、何ものにも比べることができない。ベゲ峰の頂点での観光はスキーやスケート、そりの乗りに劣らない最高の喜びと浪漫を与える。

普通、海抜の高い高山地帯のスキー場の辺りには樹木がよく成長できず、空気がとても希薄で乾燥していると言う。ところがここベゲ峰のスキー場は海抜がスキー乗りにちょうどいいばかりか、辺りには樹木が鬱蒼として空気が清新であり、その景色もすばらしい。

ベゲ峰地区ばかりでなく、三池淵市の未開拓地である胞胎地区は、降雪量が多く、自然地理的および気象気候的にもスポーツおよび体験活動型山岳観光地区の適地であると言える。

朝鮮では今後、北胞胎山を中心にスキー場と観光休養地を建設し、三池淵空港を改修し、観光鉄道を敷設するようになる。

三池淵市の観光資源を効果的に開発・利用するようにという朝鮮労働党の崇高な意図が実現されれば、朝鮮民族の誇りである白頭山地区は世界的な体育観光名所としてその魅力を一層誇示するようになるだろう。

天下絶勝———七宝山

七宝山は壮厳でユニークな山岳美と渓谷美、秀麗で恍惚たる樹林美と浅海の景色が一つになって異彩を放つ絶景をなしている朝鮮の名山中の一つである。

空高く聳え立っている奇奇妙妙な峰々と色々の樹木や花、山を真っ赤に燃え上がらせるような秋の紅葉などで絶景を広げた内七宝、秀麗な林の木陰とその底へ水晶のように清らかな小川が流れ、綺麗な滝と青い潭沼がある谷間と、行く所々に伝説と昔話も多い外七宝の独特な風景、朝鮮東海の波が押し寄せて奇岩絶壁に突き当たってしぶきを上げたり、またもや押し寄せて岩を撫でる模様と切り立った絶壁、岩の隙間に根を下ろした松の木のたくましい気象、鴎の群れ、白い砂原などが調和をなした海七宝の絶景はまことに珍しい。

七宝山にはまた、古い歴史をもつ多くの歴史遺跡が保存されており、黄進温泉を始め有名な温泉がある。

七宝山には800余種の高等植物と数百種の脊椎動物が棲息している。また、七宝山のお土産として有名な松茸を始め、百数十種の薬草資源と経済的価値と学術的意義をもつ大きな植物、動物が分布されていて、遺伝子多様性の重要な貯蔵庫となっている七宝山地区は世界生物圏保護区として登録された。

「朝鮮の民族服着用風習」世界無形文化遺産に登録される

2024年12月、パラグアイで行われたユネスコ無形文化遺産保護のための政府間委員会第19回会議で朝鮮民族の優秀な文化遺産である「朝鮮の民族服着用風習」を人類の代表的な無形文化遺産に登録するという機構の決定が全会一致で採択された。

朝鮮人民の情緒と感情、生活世態を反映した「朝鮮の民族服着用風習」は、祖先たちが創造した優秀な文化遺産の中で特出した地位を占め、朝鮮の民族服はユニークな形式と固有な美しさで世界に広く知られている。

これで民謡「アリラン」、キムチ漬けの風習、相撲、平壌冷麺の風習とともに「朝鮮の民族服着用風習」まで合わせて五つの対象が人類の代表的な無形文化遺産に登録された。

謎のような現実をいかに理解すべきか

2002年インドネシア新聞「ジャカルタ・ポスト」は大きくない国の朝鮮が世界を襲う政治的風波にも微動だにせず、「唯一超大国」の圧力と強権、専横にも強硬に対抗する謎のような現実をいかに理解すべきかと質問し、次のように指摘した。

多くの人がその秘訣を知りたがっている。

世界がそれほど知りたがっているその秘訣の一つが指導者と人民間の特有な関係すなわち渾然一体である。朝鮮には他の国々では見られない独特な現実が開かれている。愛と信頼に報いようとするのは、朝鮮人民の崇高な道徳観である。

その理由から朝鮮はあれほど強いのであり、国際社会界でもっとも生命力のある国として全世界に尊厳を轟かしているのである。

偉大な指導者を頂ければ

金正恩総書記の参席の下に行われた朝鮮労働党創立75周年慶祝閲兵式が実に恍惚で、すばらしかったので時間が経つのも知らなかったと言いながら、ギニア・ギコプレス総会社の行政責任者は次のように続けた。

自分を守る力がなくて日本帝国主義の植民地統治の下で喘いでいた朝鮮が、今日にはいかなる大敵もあえて手出しできない強国として浮上した。力が弱ければ大国の機嫌を伺わなければならない今、誰もが望みながらも実現することのできない軍事強国の地位にほかならぬ朝鮮が浮上している。

朝鮮の現実から大きくない国も偉大な指導者を頂ければ偉大な国になれるし、朝鮮のように数十年間の経済封鎖と軍事的脅威の中でも自主の道、軍事強国の道へと滞りなく進むことができるということを切実に感じた。

人民の指導者を頂いたのは朝鮮の幸運

2024年、金正恩総書記が平安北道の新義州市と義州郡の水害地域を視察し、自ら救助戦闘を指揮したニュースが伝えられると、世界の言論がそれに関する報道戦で沸き立ち、世界の社会交際網は驚きを禁じえないネチズンの反響で満ち溢れていた。

「一国の国家元首がゴム端艇に乗ってあれほど危ないところを訪ねた話は聞いたことがない。おそらく金正恩国務委員長の心の中には人民が占めている位置がとても大きいらしい。」「いったい西側のどの大統領が災害による損失と罹災民の安定状態を確認するために、自ら災害現場を視察したことがあったのか？」「先頭で救助戦闘を自ら指揮する国家指導者は世界的に初めである。人民の心中の柱である。」「朝鮮人民がなぜあれほど自分の領袖を仰いで従うのかをはじめて知るようになった。このように愛情と恩恵のみを受けている人民が何を恐れるか。」「人民の痛みを自分の痛みと思う真実な国家元首！肝心要の時に人民とともにいる真の人民の指導者！」「金正恩総書記は度量でもって国を導き、誠心でもって人民を見守る真の人民の指導者である。」「人民の指導者を頂いたのは朝鮮の幸運である！」

討論会のニュース

社会科学部門の研究討論会が行われる

金正恩総書記が地方発展、地方変革の新時代を切り開いた不滅の業績を深く体得するための社会科学部門の研究討論会が2025年2月11日、朝鮮民主主義人民共和国の首都平壌で行われた。

科学、教育、党幹部養成機関の活動家、教員、研究者が討論会に参加した。

討論会では人民の福祉増進と理想実現を党と国家の最高活動原則に打ち出し、卓越した思想と老熟な指導でもって地方が変わり、興る新時代を開いた総書記の不滅の業績を深く解説した論文が発表された。

討論者たちは、総書記が打ち出した地方発展政策は地方の世紀的な後進性にピリオドを打ち、地方中興の新たな歴史を切り開いた偉大な実践綱領であるということについて論証した。

討論会では、党中央の賢明な指導があって遠からず地方のすべての地域は軽工業の土台だけでなく、近代的な文明と技術に依拠する持続的な発展環境を整え、さらには科学、教育、保健医療の進歩を中核原動力とする国家の全面的発展綱領を実現する上で大きな前進をもたらすようになるということが言及された。

討論者たちは、全国の市、郡に広げられた素晴らしい変革ぶりは総書記の為民献身の革命指導がもたらした尊い結実である、地方発展政策の初年の課題の輝かしい完結は、地方中興の大業を確信をもって推し進めるようにした鼓舞的な成果であり、新たな闘争の跳躍台であると強調した。

続けて、総書記の偉大な地方発展思想と指導を奉じるための闘争において社会科学者たちが責任と本分を全うすべきであるということについて言及した。

ラテンアメリカ地域チュチェ思想討論会がメキシコで行われる

「自主性と世界の平和、社会的正義」に関するラテンアメリカ・チュチェ思想討論会が2025年5月3日と4日、メキシコの首都メキシコ市で行われた。

ラテンアメリカ･チュチェ思想研究所の理事長と副理事長､理事たち､ペルー､コロンビア、チリ、コスタリカを始めとするラテンアメリカ地域チュチェ思想研究組織の責任者、チュチェ思想国際研究所事務局代表団のメンバー、メキシコの政界と学界をはじめ社会各界の人士が参加した。

討論会ではラテンアメリカ・チュチェ思想研究所理事長が開会の挨拶をし、次いで朝鮮社会科学者協会と各地域のチュチェ思想研究所、諸国のチュチェ思想研究組織から討論会宛に送ってきた祝電が紹介され、祝賀演説と討論が行なわれた。

討論者たちは、金日成主席が創始し、金正日国防委員長が発展豊富化させたチュチェ思想を金正恩総書記が金日成・金正日主義に定式化したことについて詳細に解説した。

彼らは、総書記が、金日成・金正日主義の真髄は他ならぬ人民大衆第一主義であり、その核心は為民献身であると明らかにしたと言及した。

また、人民のための政治を施す総書記は、強力な自衛的国防力と人民の団結した力に依拠して社会主義建設を力強く推し進めている、朝鮮こそは反帝反米闘争で連戦連勝を達成し、国家と民族の安全をしっかりと守護し、自主の時代を輝いていく偉大な国であると激賞した。

討論者たちは､ラテンアメリカ及びカリブ地域の諸国にとってチュチェ思想が示す自主の進路に沿って政治、経済を始めとするすべての分野を自国の実情に即して自主的に開拓し、自存の力を培養することが何よりも重要である、地域内の反帝自主勢力が固く団結して帝国主義の強権と圧力に共同で対抗しなければならないと強調した。

討論会では金正恩総書記に送る手紙が採択された。